

第2学年生活科学学習活動案

1. 単元名 「わが町じまんはっけんたい II」(校区編—2)

2. 単元づくりの考え方

○ こんな子どもだから

本学年の子どもたちは、校区での行動範囲は決して広いとは言えず、家族と買い物に行く店、習いごとで訪れる場所、仲の良い友達の家、近くの公園等が日頃の主な活動場所となっている。

1学期の学校探検では、1年生に優しく学校を紹介することができた。その後、「わが町じまんはっけんたい I」では、学校の外に目を向け、繰り返し校区を歩き、南北に長いわが町校区の広さを実感する体験をしている。これらの活動を通して子どもたちは、「自分たちの住んでいるわが町には、本当にいろいろなお店や場所があるんだなあ。」「探検に行って、もっともっと調べてみたい。」という強い思いや願いをもち、わが町のよさに気づき始めている。また転出入児童が多く、おうちの人がわが町について詳しく知らないこともあり、子どもたちはおうちの人にわが町をもっと自慢したいという思いももっている。

○ こんな単元で

わが町は、たくさんの史跡、昔からの商店街、各種公共施設、各種学校が混在し、特色豊かな姿を見せている。そして近年、児童数が増加していることから分かるように町の変化はますます激しくなっている。2年生の子どもたちにとって、昔は学校のすぐそばが海水浴場であったことなど予想もつかないことである。いつも見慣れている場所でも、ちょっと視点を変えてみたり、めあてをもって探検してみたりすると、次々と新たな発見をすることができる。そんな町の奥深さを子どもたちに感じ取らせ、「自慢できるところ」をたくさん発見させることのできる単元と考えている。

○ 人とのかかわりから

子どもたちにとって、自分たちの住む町を探検することは、どんな場所やお店があるのかを調べるだけでなく、そこで働く人と出会い、その思いに触れることである。「自慢発見」には、そこに大きな意義があると考えられる。地域の人々にインタビューしたり、お話を聞いたりして交流を深めることで、より一層わが町を身近に感じ、親しみをもつようにさせたい。

○ 小中連携から

中学校に入って、子どもたちが違和感なくかかわり合いをもつことは、学校生活の中で大切なことである。そこで、今回はさまざまに年齢の異なる地域の人たちとの直接的な交流の機会を設けていくことで、コミュニケーション能力をより豊かにさせていきたい。

○ こんな指導・支援で

そこで、まず子どもたちにわが町の特色を思い出させながら、それぞれの興味関心にあわせたグループを作り、一人一人に活動への意欲をもたせたい。探検前にインタビューの仕方を話し合ったり、ロールプレイをしたりすることによって、「聞きたいことが相手にうまく伝わっているか。」「相手に応じた言葉遣いになっているか。」を考えさせたい。探検後は調べたことをグループごとにまとめ、他のグループの前で発表する機会を設ける。どうしたら調べたお店(場所)のよさが伝わる発表になるか考え、工夫していく中で、表現することの楽しさに気付かせたい。また、中間発表会の交流では、さまざまな表現方法があることを知り、「にこちゃんマーク(いいところ)」、「アドバイス(よかったところ)カード」を用いて修正を加えることで、発表がより充実したものになると考えられる。さらに、お家の人を招待して発表会を開き、自分たちが発見した自慢を広め、地域とのかかわり合いを継続させていきたい。

3. 単元目標

○ わが町にある様々なお店や、施設、場所に興味を持ち、進んで調べようとするすることができる。

○ 自分が興味のあるお店(場所)やそこで働く人について調べることができ、そのことを他のグループやおうちの人に伝えようとするすることができる。また、そのために様々なアイディアを出したり、工夫をしたりすることができる。

○ マナーやきまりを守ってわが町を探検することができる。

○ 友達の発表を聞いて、自慢の内容や分かりやすさなど、よいところに気づき、アドバイスカードに自分の考えを記入したり、発表したりすることができる。

4. 学習活動の展開と支援計画 (18時間)

段階	学習活動と子どもの姿	支援・指導の工夫と留意点 (※評価の規準)
<p>で あ う (3)</p>	<p style="text-align: center;">わが町のよさについて話し合う 3時間</p> <p>1. 1学期の校区探検を想起し、友達や家の人、地域の人に教えたいわが町のよさについて話し合う。 ①</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなところがじまんかな？ ・〇〇〇で野菜を売りに来ていることを教えたいな。 ・昔、海水浴場があったことを知らせたいな。 ・元寇防塁のことをもっと知りたいな。 </div> <p>2. もっと、知りたいことを探るための計画を立てる。 ②</p> <p>(1) 調べる計画を立てる。</p> <p>(2) 探検の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの練習をする。 ・約束を決める。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを聞こうかな。 ・探検にいる物を用意しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期にした校区探検を思い出せるように支援する。 ○ 行ってみたい所を十分に話し合い、目的を明確にできるようにする。 ※ 1学期の探検やその後の経験から、調べてみたいことや行ってみたいところについて話し合っている。 ○ 子ども達の興味や関心に合わせてグループ作りをする。 ○ インタビューの仕方やメモの取り方を話し合い、ロールプレイの場を設定する。 ※ 探検の計画を立て、必要な物を進んで準備しようとしている。 ※ 校区を探検するときのマナーや決まりについて考えている。
<p>ぐ る (12)</p>	<p style="text-align: center;">わが町のじまんをくわしく調べよう。3時間</p> <p>3. じまん見つけの校区探検をする。 ③</p> <p>(1) 自分がじまんしたい場所に行って調べる。商店街、郵便局、交番、昔の町(公民館) 地下鉄駅 など</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんがいっぱい来てるな。 ・いろいろな商品があるよ。 ・いろいろな仕事があるんだね。 ・おいしそうなものがいっぱいあるね。 ・元寇防塁は、大きくてすごいな。 </div> <p>(2) 自分が知りたいことをインタビューしながらくわしく調べる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・魚やさんは、お客さんと話しながら魚を売っていたね。 ・おばちゃんは、一生懸命商品を売っていたね。また、会いたいな。 ・豆腐屋さんは、材料に気がつかってるね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ活動の際は、保護者や探検先にも協力してもらい、十分な安全対策を取るようにする。 ※ 自分なりのめあてをもって、進んで地域の人々や場所とかかわりながら調べている。 ※ あいさつや質問の仕方を工夫して、相手に分かりやすく話しかけている。 ○ 地域の人に目を向けるために、さらにくわしく調べたいことを学習プリントに書かせた上で、2回目のじまん見つけに出かけさせる。

わが町じまんを紹介する準備をしよう。9時間

4. わが町のじまんについて調べたことをまとめる。

⑨

(1) 紹介の仕方を考える。

- ・お店の人にインタビューをしたのが楽しかったね。
- ・探検したことをクイズにしよう。
- ・昔の様子のお話を紙芝居にしよう。
- ・お店屋さんの1日を劇にしよう。

(2) 紹介の準備をする。

(3) 同じ所を調べたグループで発表を見せ合って意見交換する。(12/18 本時)

- ・もう少し、大きな声で発表するといいな。
- ・絵があった方がわかりやすいです。
- ・クイズをもっと、工夫するといいな。
- ・紙芝居で交番の仕事がよく分かった。
- ・ぼくたちも、おじさんの話を入れてみようかな。

(4) 中間発表での交流をもとに発表を仕上げる。

(5) お家の人への招待状を作り、発表会の準備をする。

わが町のじまんを紹介しよう 3時間

5. 校区探検で発見した町自まんとを友達や家の人、地域の人に紹介する。②

- ・たくさんお店があってにぎやかですよ。
- ・わが町には、古いものと新しいものがあるんですよ。
- ・お年寄りも若い人も楽しめる町です。
- ・たくさんの人に見守られていますよ。
- ・いい人がいっぱいいますね。

6. 「町じまんなはっけんたい」を振り返る。①

- 学習を通して分かったこと、気付いたことや自分の成長を話し合う。
- 「わが町じまんなはっけんたい」を通して、お世話になった人に手紙を書く。

※ 校区探検で見たこと、楽しかったことを思い出しながら準備している。

- 他のグループの発表準備の様子を報告したり、情報交換したりする場を設け、みんなで協力して発表する意識をもてるようにする。
- 多様な表現方法を提示して、子ども達がいろいろな表現方法を選んで発表できるようにする。

○ 聞き手一人一人が「にこちゃんマーク」を使って評価することで、みんながかかわって発表を作り上げていく意欲をもてるようにする。

※ 他のグループの発表を聞いて、よいところやもう少し工夫したらいいところを見つけてアドバイスをしたり、自分の発表に取り入れようとしていたりしている。

※ 中間発表で見つけた他のグループのよいところやもらったアドバイスをもとに修正したり、練習したりして発表会の準備をしている。

※ 探検して楽しかったことや分かったことをお家の人にも分かるように工夫して発表している。

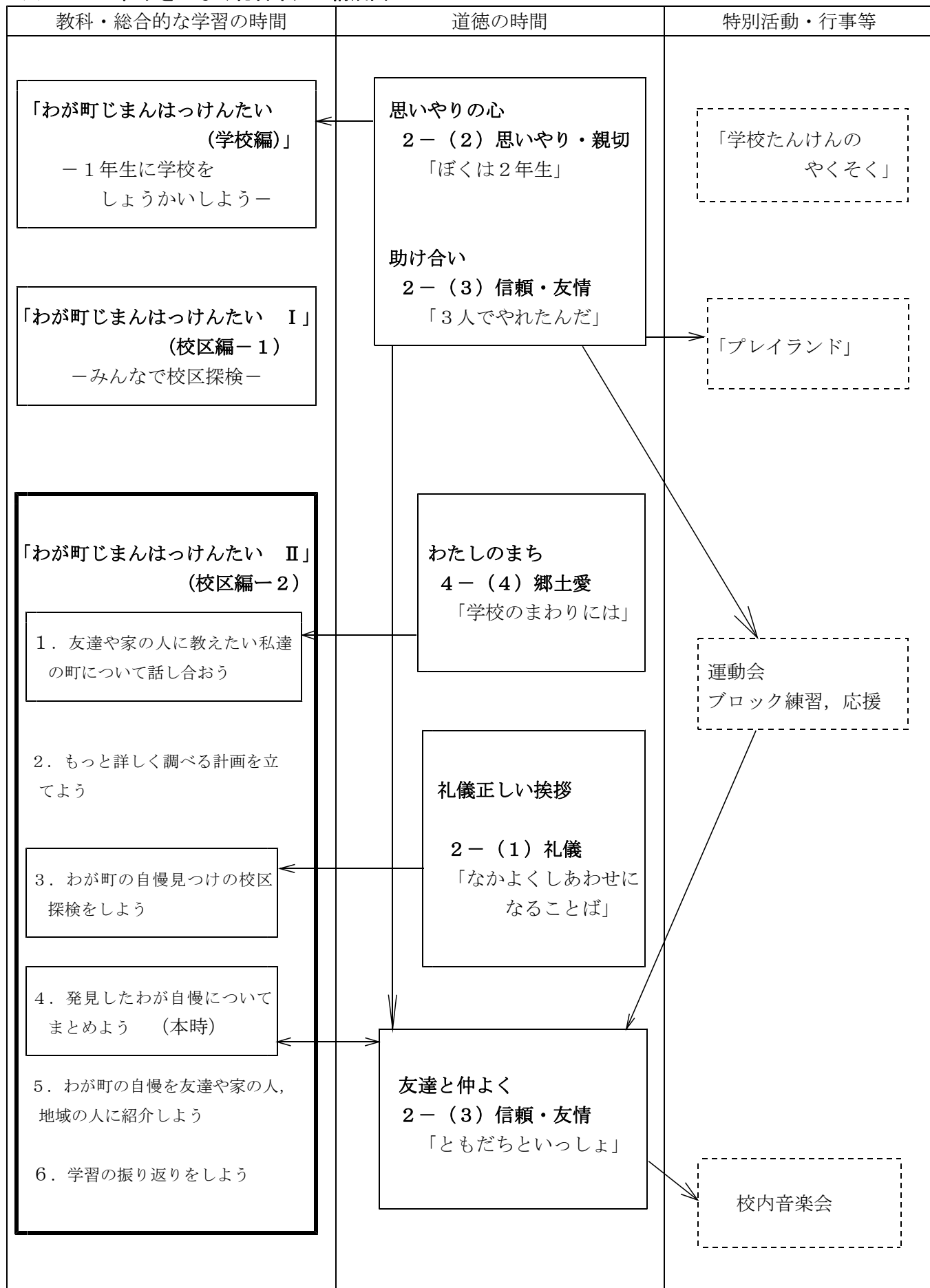
○ 発表が効果的にできるように発表場所の設定や発表形態の工夫をする。

○ 子ども達の人やものとのかわりを賞賛して意欲を高め、わが校区に親しみをもち、これからも継続してかかわっていけるようにする。

※ 今までの活動を振り返り、出会った人の素晴らしさや、楽しかったことを思い出しながら、手紙を書いている。

ひろげる(3)

人とかかわりをつなぐ総合単元 構成図



本時学習活動案 (12/18)

1. 本時の目標

- 校区探検で調べたこと、分かったことを工夫しながら、友達と協力して発表することができる。
- 友達の発表を聞き、その方法や内容について、上手にできているところやもっと工夫したらよいところを見つけて、伝えることができる。
- 中間発表を通して、本番までに工夫するところ、深めるところに気付くことができる。

2. 本時の支援・指導にあたって

- 子どもたちは1学期の校区探検を通して、校区の広さを実感するとともに、いろいろなものがあることに気づいてきた。2学期に入り、16ヶ所のお店や施設の中から一つを選択し、2～4つのグループに分かれて探検をしたり、インタビューをしたりしてきた。地域の人とのインタビューや会話をすることで、お店で働く人の思いや校区にまつわる話などを聞き、調べたことや気付いたことをまとめ発表の準備を行ってきた。発表は伝える相手にわかりやすいように紙芝居や劇など様々な表現方法を考え、子どもたちなりに工夫をこらしている。

- 本時は、これまで準備してきた各グループの発表を友達に見てもらい、発表の練習をする時間である。この中間発表会では、同じ探検場所のグループ同士で見せ合うことを重視し、3ヶ所6グループが各クラスから集まってきている。それぞれ他のグループの発表を聞き、様々な表現方法があることを知り、自らのグループの発表がよりよいものになるようにしていく時間である。

そこで、本時の支援にあたっては、まず、発表するグループは相手に分かりやすいように声の大きさや話すスピード、内容などに注意して発表させたい。発表を聞くグループには発表しているグループのよいところを見つけ、「にこちゃんマーク」を使って相手に伝えさせたい。また、改善点も含め「アドバイス（よいところ）カード」に記入して渡すことにより、自らのグループの発表もより充実したものになると考えられる。また、発表したグループももらった「アドバイスカード」や自分たちが記入した「ふりかえりカード」をもとに修正や補足をすることで、よりよい発表にさせていきたい。

3. 準備

(教師) インタビューをしている時の写真資料、アドバイスカード、ふりかえりカード

(子ども) 発表に使う資料や発表原稿、写真など

本時学習活動案（12/18）

1. 本時の目標

- 校区探検で調べたこと、分かったことを工夫しながら、友達と協力して発表することができる。
- 友達の発表を聞き、その方法や内容について、上手にできているところやもっと工夫したらよいところを見つけて、伝えることができる。
- 中間発表を通して、本番までに工夫するところ、深めるところに気付くことができる。

2. 本時の支援・指導にあたって

- 子どもたちは1学期の校区探検を通して、校区の広さを実感するとともに、いろいろなものがあることに気づいてきた。2学期に入り、16ヶ所のお店や施設の中から一つを選択し、2~4つのグループに分かれて探検をしたり、インタビューをしたりしてきた。地域の人とのインタビューや会話をしながら、お店で働く人の思いや校区にまつわる話などを聞き、調べたことや気付いたことをまとめ発表の準備を行ってきた。発表は伝える相手にわかりやすいように紙芝居や劇など様々な表現方法を考え、子どもたちなりに工夫をこらしている。
- 本時は、これまで準備してきた各グループの発表を友達に見てもらい、発表の練習をする時間である。この中間発表会では、同じ探検場所のグループ同士で見せ合うことを重視し、3ヶ所6グループが各クラスから集まってきている。それぞれ他のグループの発表を聞き、様々な表現方法があることを知り、自らのグループの発表がよりよいものになるようにしていく時間である。
そこで、本時の支援にあたっては、まず、発表するグループは相手に分かりやすいように声の大きさや話すスピード、内容などに注意して発表させたい。発表を聞くグループには発表しているグループのよいところを見つけ、「にこちゃんマーク」を使って相手に伝えさせたい。また、改善点も含め「アドバイス（よいところ）カード」に記入して渡すことにより、自らのグループの発表もより充実したものになると考えられる。また、発表したグループももらった「アドバイスカード」や自分たちが記入した「ふりかえりカード」をもとに修正や補足をすることで、よりよい発表にさせていきたい。

3. 準備

- (教師) インタビューをしている時の写真資料、アドバイスカード、ふりかえりカード
(子ども) 発表に使う資料や発表原稿、写真など

4. 本時の展開

学習活動と子どもの姿	支援・指導上の工夫と留意点（※評価の規準）
<p>1. 前時を振り返り、本時のめあてを話し合う。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>町のじまんがもっとよくつたわるようなはっぴょうのしかたを考えよう。</p> </div> <p>○ 前時の中間発表会のことを想起する</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・お店のおじさんが楽しいよね。 ・かまぼこが食べたくなかったよね。 ・昔の海で泳いでみたかったな。</p> </div> <p>2. よりよくする視点について確認する。</p> <p>○ 話し方、表現方法、表現方法の工夫について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ゆっくりはっきり話したらいいな。 ・みんなの方を見て言うと分かりやすいよ。 ・おもしろいじまんを聞きたいな。 ・行ってみたいなと思うかな。</p> </div> <p>3. 中間発表をして、いいところやアドバイスしたいところについて話し合う。</p> <p>○ 洋服店・かまぼこ店・昔の町(公民館) 各1グループずつ発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・お客さんはどんな服が欲しいのかいつも考えているよ。 ・お店同士でも、お客さんに喜んでもらえるように協力しているんだよ。 ・いつも海で遊んでいたよ。</p> </div> <p>○ 発表が終わったら発表者は、ふりかえりカードを書く。聞き手は、アドバイスカードを書く。</p> <p>○ 発表が終わるごとに質問や意見を出しあい、交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・お勧めの品物はなんですか。 ・紙芝居が分かりやすかったです。 ・どうして海が遠くなったんですか。 ・もっと大きな声で話した方がいいと思います。 ・紙人形はゆっくり動かした方がいいと思います。</p> </div> <p>4. 今日の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。</p>	<p>○ 友達やうちの人たち、地域の人に発表会で自まを伝えるときのことを話題にして活動のめあてをしっかりと持たせる。</p> <p>※ 発表会を成功させようと、意欲を持ってめあてについて考えている。</p> <p>○ 聞いているグループがより意欲的に活動できるようにいいところを見つけたら「にこちゃんマーク」を出すことを思い出させる。</p> <p>○ 発表グループは、工夫して表現することについて考えさせる場にする。</p> <p>○ 聞き手は、どんなアドバイスをしたらいいかを考えさせる場にする。</p> <p>※ どんなことに気をつけて発表したり聞いたりしたらいいか考えて話し合っている。</p> <p>※ お店や施設の自まを分かってもらおうと工夫して発表している。</p> <p>○ 聞き手に「にこちゃんマーク」をあげるように声かけをする。</p> <p>○ 発表グループは、ふりかえりカードにがんばったところ、もっと良くしたいところについて記入させる。</p> <p>※ 聞き手は、真剣に友達の発表を聞き、友達のいいところやアドバイスしたいところを見つけてアドバイス（よかったところ）カードに書いている。</p> <p>○ 発表ごとに、よかったところや改善点などを考えさせ、発表させる。</p> <p>○ 次時は、自分達の発表を振り返り、よりよい発表になるように見直しをすることを伝え、意欲を高める。</p>

4. 本時の展開

学習活動と子どもの姿	支援・指導上の工夫と留意点（※評価の規準）
<p>1. 前時を振り返り、本時のめあてを話し合う。 めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>町のじまんがもっとよくつたわるようなはっぴょうのしかたを考えよう。</p> </div> <p>○ 前時の中間発表会のことを想起する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たたみのおいってどんなのかなあ。 ・どんなお仕事をしているのか、友達に伝わるかな。 ・ぼくの好きなお魚があったよ。 </div> <p>2. よりよくする視点について確認する。</p> <p>○ 話し方、表現方法、表現方法の工夫について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりはっきり話したらいいな。 ・みんなの方を見て言うとなかりやすいよ。 ・おもしろいじまんを聞きたいな。 ・行ってみたいなと思うかな。 </div> <p>3. 中間発表をして、いいところやアドバイスしたところについて話し合う。</p> <p>○ たたみ店・郵便局・鮮魚店 各1グループずつ発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たたみはこんな道具で作っているそうです。 ・お手紙以外に小包を配達もしているんだよ。 ・新鮮な魚を売るためにいろいろな工夫をしているんだよ。 </div> <p>○ 発表が終わったら発表者は、ふりかえりカードを書く。聞き手は、アドバイスカードを書く。</p> <p>○ 発表が終わるごとに質問や意見を出しあい、交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声でよく聞こえました。 ・紙芝居が分かりやすかったです。 ・どうして海が遠くなったんですか。 ・協力して発表していました。 ・もっとみんなの方を見たら良いよ。 </div> <p>4. 今日の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。</p>	<p>○ 友達やうちの人たち、地域の人に発表会で自まんを伝えるときのことを話題にして活動のめあてをしつかりもたせる。</p> <p>※ 発表会を成功させようと、意欲を持ってめあてについて考えている。</p> <p>○ 聞いているグループがより意欲的に活動できるように、いいところを見つけたら「にこちゃんマーク」を出すことを思い出させる。</p> <p>○ 発表グループは、工夫して表現することについて考えさせる場にする。</p> <p>○ 聞き手は、どんなアドバイスをしたらいいかを考えさせる場にする。</p> <p>※ どんなことに気をつけて発表したり聞いたりしたらいいかを考えて話し合っている。</p> <p>※ お店や施設の自まんを分かってもらおうと工夫して発表している。</p> <p>○ 聞き手に「にこちゃんマーク」をあげるように声かけをする。</p> <p>○ 発表グループは、ふりかえりカードにがんばったところ、もっと良くしたいところについて記入させる。</p> <p>※ 聞き手は、真剣に友達の発表を聞き、友達のいいところやアドバイスしたいところを見つけてアドバイス（よかったところ）カードに書いている。</p> <p>○ 発表ごとに、よかったところや改善点などを考えさせ、発表させる。</p> <p>○ 次時は、自分たちの発表を振り返り、よりよい発表になるように見直しをすることを伝え、意欲を高める。</p>

4. 本時の展開

学習活動と子どもの姿	支援・指導上の工夫と留意点（※評価の規準）
<p>1. 前時を振り返り、本時のめあてを話し合う。 めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>町じまんがもっとよくつたわるようなはっぴょうのしかたを考えよう。</p> </div> <p>○ 前時の中間発表会のことを想起する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お店のおじさんが楽しいよね。 ・パンの美味しいにおいがつたわるかな。 ・地下鉄に乗りたくない。 </div> <p>2. よりよくする視点について確認する。</p> <p>○ 話し方、表現方法、表現方法の工夫について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりはっきり話したらいいな。 ・みんなの方を見て言うと分かりやすいよ。 ・おもしろいじまんを聞きたいな。 ・行ってみたいと思うかな。 </div> <p>3. 中間発表をして、いいところやアドバイスしたところについて話し合う。</p> <p>○ 食堂・地下鉄・パンやさん 各1グループずつ発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人気のメニューは、ちゃんぽんだよ。 ・安全に一番気をつけているんだよ。 ・おいしいパンができたときは、うれしそうです。 </div> <p>○ 発表が終わったら発表者は、ふりかえりカードを書く。聞き手は、アドバイスカードを書く。</p> <p>○ 発表が終わるごとに質問や意見を出しあい、交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声でよく聞こえました。 ・紙芝居が楽しかったです。 ・協力して発表していました。 ・もっとみんなの方を見たらいいよ。 ・自まんが良く分かったよ。 </div> <p>4. 今日の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。</p>	<p>○ 友達やうちの人たち、地域の人に発表会で自まんを伝えるときのことを話題にして活動のめあてをしつかりもたせる。</p> <p>※ 発表会を成功させようと、意欲を持ってめあてについて考えている。</p> <p>○ 聞いているグループがより意欲的に活動できるように、いいところを見つけたら「にこちゃんマーク」を出すことを思い出させる。</p> <p>○ 発表グループは、工夫して表現することについて考えさせる場にする。</p> <p>○ 聞き手は、どんなアドバイスをしたらいいかを考えさせる場にする。</p> <p>※ どんなことに気をつけて発表したり聞いたりしたらいいか考えて話し合っている。</p> <p>※ お店や施設の自まんを分かってもらおうと工夫して発表している。</p> <p>○ 聞き手に「にこちゃんマーク」をあげるように声かけをする。</p> <p>○ 発表グループは、ふりかえりカードにがんばったところ、もっと良くしたいところについて記入させる。</p> <p>※ 聞き手は、真剣に友達の発表を聞き、友達のいいところやアドバイスしたいところを見つけてアドバイス（よかったところ）カードに書いている。</p> <p>○ 発表ごとに、よかったところや改善点などを考えさせ、発表させる。</p> <p>○ 次時は、自分たちの発表を振り返り、よりよい発表になるように見直しをすることを伝え、意欲を高める。</p>

4. 本時の展開

学習活動と子どもの姿	支援・指導上の工夫と留意点（※評価の規準）
<p>1. 前時を振り返り、本時のめあてを話し合う。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>町じまんがもっとよくつたわるようなはっぴょうのしかたを考えよう。</p> </div> <p>○ 前時の中間発表会のことを想起する</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいキムチを食べてみたいな。 ・花屋さんのお仕事が分かったよ。 ・昔は、海に近かったんだね。 </div> <p>2. よりよくする視点について確認する。</p> <p>○ 話し方、表現方法、表現方法の工夫について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりはっきり話したらいいな。 ・みんなの方を見て言うと分かりやすいよ。 ・おもしろいじまんを聞きたいな。 ・行ってみたいと思うかな。 </div> <p>3. 中間発表をして、いいところやアドバイスしたいところについて話し合う。</p> <p>○ 洋服店・かまぼこ店・昔の町(公民館) 各1グループずつ発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国の品物をたくさん売っています。 ・いろいろな花の世話やアレンジの工夫をしています。 ・海辺で、いろんな遊びをしていたよ。 </div> <p>○ 発表が終わったら発表者は、ふりかえりカードを書く。聞き手は、アドバイスカードを書く。</p> <p>○ 発表が終わるごとに質問や意見を出しあい、交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の声が大きくてよかったです。 ・紙芝居が分かりやすかったです。 ・お店の人の工夫がよく分かりました。 ・昔は、海辺や空き地でたくさん遊んでいたんだね。 ・調べて自分が思ったことも発表できるといいです。 </div> <p>4. 今日の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。</p>	<p>○ 友達やうちの人たち、地域の人に発表会で自まんとを伝えるときのことを話題にして活動のめあてをしっかりと持たせる。</p> <p>※ 発表会を成功させようと、意欲を持ってめあてについて考えている。</p> <p>○ 聞いているグループがより意欲的に活動できるようにいいところを見つけたら「にこちゃんマーク」を出すことを思い出させる。</p> <p>○ 発表グループは、工夫して表現することについて考えさせる場にする。</p> <p>○ 聞き手は、どんなアドバイスをしたらいいかを考えさせる場にする。</p> <p>※ どんなことに気をつけて発表したり聞いたりしたらいいか考えて話し合っている。</p> <p>※ お店や施設の自まんとを分かってもらおうと工夫して発表している。</p> <p>○ 聞き手に「にこちゃんマーク」をあげるように声かけをする。</p> <p>○ 発表グループは、ふりかえりカードにがんばったところ、もっと良くしたいところについて記入させる。</p> <p>※ 聞き手は、真剣に友達の発表を聞き、友達のいいところやアドバイスしたいところを見つけてアドバイス（よかったところ）カードに書いている。</p> <p>○ 発表ごとに、よかったところや改善点などを考えさせ、発表させる。</p> <p>○ 次時は、自分達の発表を振り返り、よりよい発表になるように見直しをすることを伝え、意欲を高める。</p>

4. 本時の展開

学習活動と子どもの姿	支援・指導上の工夫と留意点（※評価の規準）
<p>1. 前時を振り返り、本時のめあてを話し合う。 めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>町じまんがもっとよくつたわるようなはっぴょうのしかたを考えよう。</p> </div> <p>○ 前時の中間発表会のことを想起する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・豆腐屋さんに行ってみたいな。 ・おまわりさんはとてもやさしそうだったな。 ・リヤカー部隊のおばさんと話してみたいな。</p> </div> <p>2. よりよくする視点について確認する。</p> <p>○ 話し方、表現方法、表現方法の工夫について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ゆっくりはっきり話したらいいな。 ・みんなの方を見て言うと分かりやすいよ。 ・おもしろいじまんを聞きたいな。 ・行ってみたいなと思うかな。</p> </div> <p>3. 中間発表をして、いいところやアドバイスしたいところについて話し合う。</p> <p>○ とうふ店・交番など、各1グループずつ発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・豆腐のほかにもいろいろ売ってあったよ。 ・町の安全をまもってくれているんだよ。 ・お客さんのことを一番に考えているんだよ。</p> </div> <p>○ 発表が終わったら発表者は、ふりかえりカードを書く。聞き手は、アドバイスカードを書く。</p> <p>○ 発表が終わるごとに質問や意見を出しあい、交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・お勧めの品物はなんですか。 ・紙芝居が分かりやすかったです。 ・大きな声でとても聞きやすかったです。 ・紙人形はゆっくり動かした方がいいと思います。</p> </div> <p>4. 今日の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。</p>	<p>○ 友達やうちの人たち、地域の人に発表会で自慢を伝えるときのことを話題にして活動のめあてをしっかり持たせる。</p> <p>※ 発表会を成功させようと、意欲を持ってめあてについて考えている。</p> <p>○ 聞いているグループがより意欲的に活動できるように、いいところを見つけたら「にこちゃんマーク」を出すことを思い出させる。</p> <p>○ 発表グループは、工夫して表現することについて考えさせる場にする。</p> <p>○ 聞き手は、どんなアドバイスをしたらいいかを考えさせる場にする。</p> <p>※ どんなことに気をつけて発表したり聞いたりしたらいいか考えて話し合っている。</p> <p>※ お店や施設の自慢を分かってもらおうと工夫して発表している。</p> <p>○ 聞き手に「にこちゃんマーク」をあげるように声かけをする。</p> <p>○ 発表グループは、ふりかえりカードにがんばったところ、もっと良くしたいところについて記入させる。</p> <p>※ 聞き手は、真剣に友達の発表を聞き、友達のいいところやアドバイスしたいところを見つけてアドバイス（よかったところ）カードに書いている。</p> <p>○ 発表ごとに、よかったところや改善点などを考えさせ、発表させる。</p> <p>○ 次時は、自分たちの発表を振り返り、よりよい発表になるように見直しをすることを伝え、意欲を高める。</p>